

平成 24 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 アルバック
代 表 者 名 代表取締役社長 諏訪 秀則
(コード番号:6728 東証一部)
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 本吉 光
(TEL. 0467-89-2033 大代表)

「事業構造改革プラン」の策定に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 4 月 26 日開催の取締役会において、「事業構造改革プラン」を実施することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の経営環境と事業構造改革プランに至った理由

当社は、平成 24 年 2 月 13 日に「平成 24 年 6 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたが、急激な事業環境の変化により、当社の主力事業である FPD 製造装置の受注が急速に減少したのに加え、開発要素の高い FPD 製造装置、一般産業用装置、PV 製造装置などにおいて、多額の追加原価の発生が重なったことや、マテリアル事業の減速、さらには円高が継続したことなどにより収益が大幅に悪化いたしました。

また、急激な環境変化による受注高の減少で、期末受注残高が大幅に減少し、平成 25 年 6 月期の業績に大きな影響を及ぼす見込みとなりました。加えて、当社グループにおいて減価償却費や人件費といった固定費負担が高くなるなど、収益確保が難しくなっております。

当社グループは、これまで売上高 4,000 億円以上、経常利益率 10%以上の目標を掲げるとともに、シェア拡大を重視した成長を目指していましたが、経営環境の大きな変化に迅速に対処する必要が生じてまいりました。

そのため、

- ①売上高 4,000 億円以上、経常利益率 10%以上の目標は、一旦見送りをいたします。
- ②当社グループの主要なお客様であるエレクトロニクス産業の特徴である、設備投資の大きな波にも耐えられるような筋肉質の会社にするために、事業戦略の大幅な方針変更を行います。

当社グループは、今後の成長戦略を実現するために、収益確保や成長戦略を始めとする「事業構造改革プラン」を策定し、早急に実施することといたしました。

2. 「事業構造改革プラン」の概要

当社が策定した「事業構造改革プラン」の概要は、以下のとおりです。

- ① 聖域なき改革
- ② 構造改革費用の発生を伴う施策は平成 24 年 6 月期中に終了する

(ア) 骨子

- ① 基本的な考え方
 - ・収益性を改善し、世界で唯一の「総合真空装置メーカー」として生き残る
 - ・「商品(商品開発)」の選択と「リソース」の集中を実施し中長期的な成長を実現

- ・リターンが得られる投資は積極的に実施する
- ② 構造改革の内容(事業)
 - ・リターンが見込まれない事業及びグループ会社は撤退、清算、合併、売却を実施
 - ・3S^{*1)}の徹底とダントツ商品の開発で利益率向上
 - *1) 3S:単純化:Simple、共通化:Same、標準化:Standard
 - ・グローバル化と国内体制の再構築
- ③ 構造改革の内容(組織・体制)
 - ・開発の内容、商品ラインナップを絞り込み、リソースを集中する
 - ・効率化を図るために、部署や事業部の統廃合を行う
 - 上記の結果として人員整理と人員削減を行う

(イ) 具体的施策及び効果

① 短期的施策

収益性の向上を図り、平成 25 年6月期の営業黒字化を目指す。

(具体策)

- ・損益分岐点の引き下げ :連結売上高 1,700 億円で営業黒字を達成する体質への変革
- ・事業再編 :当社組織変更(営業・販売体制の再編、本部長組織設置等)、グループ会社の清算他
- ・希望退職者の募集 :当社及び当社グループあわせて約 700 名程度(当社及び当社グループ従業員を対象)
- ・資産の圧縮:固定資産の減損及び除却損、たな卸資産評価損を計上

② 中期的施策

短期的な構造改革を実施した後の当社が、黒字体質を維持しつつ、今後成長をしていくために以下の施策を実施いたします。

- ・事業再編 :グループ会社(生産子会社等)の統廃合、事業及びグループ会社の売却等の検討
- ・収益性の向上 :「単純化(S)」「共通化(S)」「標準化(S)」の3S運動の推進と競争優位性ある「ダントツ(D)製品」の開発による価格競争力アップ
- ・グローバル化の推進 :縮小する日本市場から成長する海外市場へのシフトを推進する為、3年後をめどに海外生産比率を約 50%まで高める

3. 業績への影響について

「事業構造改革プラン」の実施に伴う費用が発生することなどから、本日、「特別損失の発生、繰延税金資産の取り崩し、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

「事業構造改革プラン」につきましては、詳細を当社ホームページに開示しておりますのでご参照願います。また、「業績予想の修正及び配当予想の修正」に関する詳細及び「希望退職者の募集」に関する詳細につきましても、本日別途開示しております「特別損失の発生、繰延税金資産の取り崩し、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び「希望退職者募集に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上